

第2回 千代川タイムライン検討会 ニュースレター

令和元年11月27日(水) 14:00~16:30
鳥取県庁 第2庁舎 4階 34会議室

- 1. 開会の辞 鳥取河川国道事務所 浜田副所長
- 2. 挨拶 鳥取大学大学院工学研究科 三輪浩教授
- 3. 研修会・第1回検討会の振り返り パシフィックコンサルタンツ株式会社
- 4. グループワーキング パシフィックコンサルタンツ株式会社
- 5. 総評 鳥取大学大学院工学研究科 三輪浩教授

◆ 参加機関 (国、県、市、他23機関(29機関中))


座長	鳥取大学大学院工学研究科	
気象庁	気象庁 鳥取地方气象台	
鳥取県	危機管理局 危機管理政策課	
	国土整備部	河川課
	国土整備事務所	計画調査課
警察	鳥取県 警察本部 警備第二課	
	鳥取警察署	
	智頭警察署	
	郡家警察署	
市町	鳥取市 危機管理課	
自衛隊	陸上自衛隊 第8普通科連隊 【欠席】	
消防	鳥取県 東部広域行政管理組合 消防局 警防課	
ライフライン	中国電力株式会社	鳥取営業所 【欠席】 鳥取電力所
	鳥取ガス 株式会社	
通信インフラ	NTT西日本 株式会社 中国支店 鳥取営業所	
鉄道	JR西日本 株式会社 米子支社 安全推進室	
バス会社	日本交通 株式会社 鳥取	
	日ノ丸自動車 株式会社 鳥取 【欠席】	
報道関係	NHK 鳥取放送局	
	日本海テレビジョン放送 株式会社 報道制作局	
	株式会社 山陰放送 鳥取支局 【欠席】	
	山陰中央テレビジョン 株式会社	
	日本海ケーブルネットワーク 株式会社 鳥取	
国土交通省	河川管理課	
	殿ダム管理支所	
	防災課 【欠席】	
	道路管理一課	
	道路管理二課 【欠席】	
	中国地方整備局 鳥取河川国道事務所	

◆ 第2回検討会の内容

3. 研修会・第1回検討会の振り返り

✓ 研修会・第1回検討会の振り返り

…これまでのワーキング成果、及び鳥取大学大学院三輪教授の総括を振り返りました。

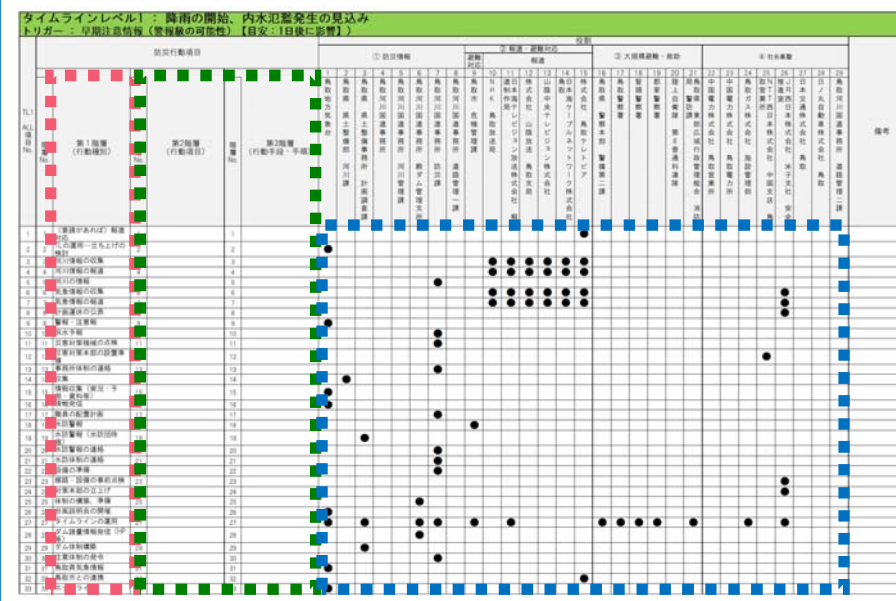


【研修会】振り返り
水害時の防災行動に対する懸念

【第1回検討会】振り返り
他機関との協力が強い重要行動項目の概要

【第1回検討会】振り返り
総評：鳥取大学大学院工学研究科 三輪浩教授

【第1回検討会】振り返り
総評：鳥取大学大学院工学研究科 三輪浩教授



✓ タイムライン (TL) 完成までの流れ

…TL完成までの流れを第1回検討会～本検討会～今後の検討会の内容に沿って確認。

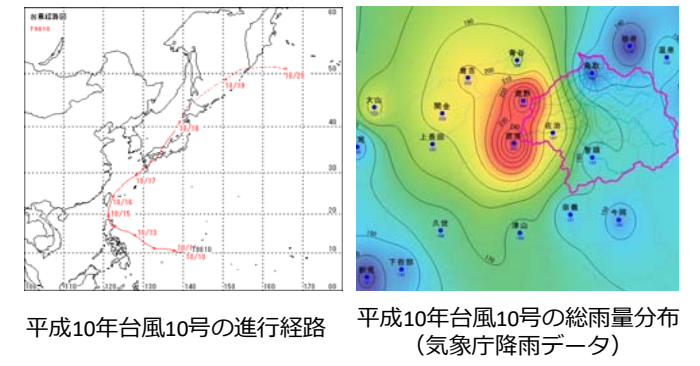
- 第1回検討会 事前作業+ワーキング：TL 第1階層
- 本検討会
- 第2回検討会 事前作業+ワーキング：TL 第2階層、第3階層
- TL (素案) 作成
- 第3回検討会 ワーキング+意見照会：情報発信・共有する機関の明確化
- TL (案) 作成
- 第4回検討会 ワーキング：全体読み合わせ
- TL (令和元年度版) 完成

✓ タイムラインにて想定する降雨分布の特徴

・平成10年台風10号の進行経路と千代川流域の降雨特性

…台風経路と降雨の分布状況により、千代川流域では野坂川を含めた西側流域で多雨が発生。

→検討会で想定する被害シナリオは、想定最大降雨 (H10.10型) をベースとするが、**降雨特性は度々変化するものであり、浸水被害や順序は西側流域に限らず流域全体で起こりうるもの。**



4. グループワーキング

…同様の役割を有する機関のグループで構成した、合計4グループの構成でワーキングを実施しました。
第1回検討会ワーキングで抽出・整理した行動項目の中で、特に他機関との係わりが強い**重点行動項目の具体化・細分化**を行いました。

→グループ分け

グループNo.	グループ名	対象機関
①	防災情報	気象台、河川管理者、県土木部局、道路管理者(情報)
②	広報・報道	報道事業者
	避難対応	自治体危機管理部局
③	大規模避難・救助	県危機管理部局、警察、消防、自衛隊
④	社会基盤(交通・運輸)	交通事業者、道路管理者(復旧)
	社会基盤(ライフライン・通信インフラ)	ライフライン事業者、電気通信事業者

Step 1

重点行動項目の具体化・細分化



- ① テーブルごとに、ファシリテーターから重点行動項目の具体化・細分化について詳細の説明を受けます。
- ② 「**重点行動項目**」について、**行動項目、手順①②③、実施する上での課題**をそれぞれ付箋に記入し、「重点行動項目対応シート」に貼付け。

Step 2

グループ内発表・意見交換



- ① グループ内で、**機関ごとに重点行動項目対応シートの内容を発表**。
- ② 重点行動項目対応シートの「**⑤実施する上での課題**」を**大判シート**に貼付け。
- ③ その項目を実施する上で**関係するグループにチェック(✓)**。

Step 3

全体発表

総評

鳥取大学 三輪教授



グループ内で挙げられた**重点行動項目**について、行動を実施する上での**課題、他機関と必要な連携**を発表。



- ① 行動に至った情報を含めて共有、分析してほしい。行動する理由をお互いの機関で話すことでスムーズに動ける。
- ② 情報を受けるのは住民の方々。発信することが多い皆さんは、情報を受け取る立場になって情報発信してほしい。情報を受け取ってもらい、行動につなげることがTLの最終目標・効果。

ワーキング成果

グループ名	主な発表内容
① 防災情報 <small><主な連携先> 防災情報 広報・報道</small>	<p>【TL Lv.3】・気象台→一般の方、防災機関に情報提供。・県河川→関係機関等への迅速、確実な情報連絡。外水氾濫被害の情報収集。防災情報提供、水防警報の発令。・国河川→水位予測（3時間、6時間予測も可能）→関係機関に周知。</p> <p>【TL Lv.4】・気象台→情報提供。関係機関に情報周知。・県河川→外水内水被害の情報収集・情報提供。・国河川→洪水予報、水位予測を関係機関に周知。・殿ダム→緊急放流（3時間前から市や住民、関係機関）の的確な周知。・道路管理一課→外水・内水被害が始まると道路パトロールを行わなければならない→タイミングをどうするか。作業員の安全を確保しながら実際に被害が発生している中でどう行動するか。</p>
② 広報報道 <small><主な連携先> 防災情報 広報・報道 避難対応 社会基盤</small>	<p>➢ 各局でバラつきはあるが、共通するのは情報がないと動けないこと。河川事務所・行政からスムーズに情報が入れば、事の重要さを我々も知ることができ、動くことができる。</p> <p>【TL Lv.3】ニュース速報 【TL Lv.4】L字放送や大雨情報・鉄道情報等の放送を行う。 【TL Lv.5】カットイン（通常放送中止、災害情報に特化した番組放送）。</p>
避難対応 <small><主な連携先> 防災情報 広報・報道</small>	<p>➢ 鳥取市→ 住民への周知が一番の懸念。周知のために、独自で無線や設備は持っているが、やはり報道の力をお借りしたい。</p> <p>➢ 鳥取県→ 広域的な避難ということで、他市への避難についても調整をお願いします。</p> <p>【TL Lv.2】自主避難所の開設 【TL Lv.3】住民への周知 【TL Lv.4】住民への周知</p>
③ 大規模避難・救助 <small><主な連携先> 防災情報</small>	<p>➢ 法律上の責務として、人命救助が基本である。</p> <p>【TL Lv.0以降】規定に基づき、機関ごとに早めに情報収集を行う。</p> <p>【TL Lv.2】警報が鳴った段階から、体制を確実にして情報収集などの対応を行う。</p> <p>【TL Lv.3~5】情報収集、交通規制での人員確保、住民避難時の関係機関との連携が課題。 【TL Lv.5】救出活動の分担・調整を行う。</p>
④ 社会基盤 <small><主な連携先> 防災情報 広報・報道</small>	<p>➢ 道路情報が必要なのは一致した意見。マスコミによる情報伝達が重要。</p> <p>【TL Lv.1】計画運休の詳細な決定と周知。（線区、運休時刻等）</p> <p>【TL Lv.2】運転再開見込みをどのように周知するのかが、最近の課題である。</p> <p>【TL Lv.3,4】線路点検の計画を立てる。沿線に並行する国道・県道・沿道は通行可能か確認できるかが重要。</p> <p>【TL Lv.5】被害状況を確定するため、道路情報が必要。避難指示発令の間、天気がいい場合には社員に点検をさせてよいのかが、社内で問題になっている。</p>

◆ 第3回 千代川タイムライン検討会の予定

- 開催時期：令和元年 1月24日（金） 14時～16時30分
- 検討会内容：**重点行動項目に関する課題整理・調整、他機関との連携について合意形成**

1. [各機関・部署] 具体化・細分化した**重点行動項目**を確認
2. [グループ] 重点行動項目の**連携ポイント**や、**調整事項**をグループで整理。
3. [全体] TLレベルに沿って各機関からの他機関との**連携ポイント**や**調整事項**を共有し、**該当機関との内容確認・意見交換**。

【重点行動項目対応シート】

重点行動項目(行動種別)	行動項目	実施する上での課題
情報収集	被災情報の収集	関係機関からの迅速な情報提供
手順①(水色付箋)	手順②(水色付箋)	手順③(水色付箋)
水位情報や河川カメラ映像の確認	河川事務所からの被災情報の発信	被災情報の関係機関への伝達

重点行動項目対応シート

グループ名：②報道・避難対応 TLレベル：TL1~5

項目	担当	備考
① 防災情報	気象台	
② 広報・報道	報道事業者	
③ 避難対応	自治体危機管理部局	
④ 大規模避難・救助	県危機管理部局、警察、消防、自衛隊	
⑤ 社会基盤(交通・運輸)	交通事業者、道路管理者(復旧)	
⑥ 社会基盤(ライフライン・通信インフラ)	ライフライン事業者、電気通信事業者	

大判ワークシート
(重点行動項目の課題・懸念事項)